

慶應記事

八

和書門			
三	一	七	三
二	〇	二	九
一	〇	九	二
冊	架	函	號

內閣文庫			
一	五	三	一
函	架	冊	號
五	〇	一	七
架	冊	號	類

65
閣

內閣文庫	
番號	和 31735
冊數	10 (8)
函號	151 31

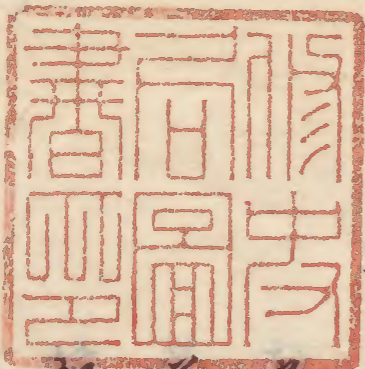
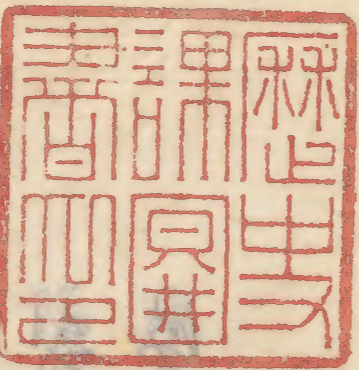


Kodak Gray Scale
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



© Kodak, 2007 TM: Kodak





西本願寺山家兼西村芳之部役之脱走
入込探索見聞之筆記



一
昨十二月十五日夜京師暴動後長府藩兵領之被脱走
者急派者九追之懐疑之者長府藩兵領之被脱走者
前々御人数八十二人言赤根武人等脱走者
新作以多野金吾佐世八前川上吉的村上宅馬淵上哉
太郎權云云之被重月而多野金吾中野源藏之村
兼徳馬揚俊二前山川佐吉以下者先口前以之熟
信也遂益田福永國司之三國老を自腹也

吉岡監物と初先陣隊と考へ毎に打果てんと考へて及
出た野戦地へ素々小銃を擬て無きは押詰る方
に下りて無款預及爲りて此法隊は素々先陣隊
に吉岡の隊長吉岡忠陳系に二部以下或百人半に
卷りし如き此陣一日廿二日不切りて戦事有る如
奇多隊も少人数に少く百姓を多人数金銭を
お雇紙籍と云後陣備へて八中人と考へ先陣打
立後軍の百姓を少く本陣或は去勢を打て同縣
波の之揚をせし先陣隊も在外に多勢に依りて



居りて高松より隊士忽ち切込大合戦及び先陣
隊は敗軍に當り陣地を打捨四果村より退き先隊
も追討に當り中尾川上へ二ヶ村放火後一隊は陣
を居置れりこの討ちと相待り戦争、而も新治前及村
常陸へ去る流丸、高し即死に候し前野戦地小筒二倍
挺分捕りて知りて戦、勝利を得事、在り、是れ身下
に分散致し、居りて隊、考へ退き、追討加り、以り忽ち百
人余、去成候、高松高松山下に勇立居り

此後

高松高松山下に勇立居り

大川のつらふりてぬ先陣隊朝と泊る江書とまき
是の先陣は江の先陣ありては先陣と大合戦に
其の先陣は合戦の先陣ありては先陣と大合戦に
多人殺す成猶又中園の兵を先陣と大合戦に
又威勢強くお成り

一 尚正月の夜先陣隊八十人中園新地莊の合戦
氏集波居先陣隊夜討を知らず前夜合隊士百五
拾人中先陣隊夜討に依り根拠し武野難具を打撃

山越の先陣隊中人先陣隊金浪手先陣隊教あり
先陣隊の先陣あり

但し先陣隊の先陣と申すは先陣隊の先陣あり
先陣隊の先陣あり

右の先陣隊の先陣あり先陣隊の先陣あり
先陣隊の先陣あり先陣隊の先陣あり
先陣隊の先陣あり先陣隊の先陣あり

世に中世の心つらき道あり皇國の爲に志をこころ

一 力士隊長山分山分は山分中御山猫老の山山分は山分中御業を漢傑

也其物中老山分山山分金銀山分活力山分夜檀浦山分

心持を破り山猫山分北段上系を前山分手底をたの

肩大塚山分山分切山認情山分力士隊山分名流持を持

七纏山分人少橋大塚山分山分山分山猫老山分山分

漢ホハ純子の山猫山分大山山分山分常一山分

一 右隊中山分山分事情山分一山分山分種山分探案山分山分

初山分山分後愛働山分山分山分山分先陣隊山分山分

勢を隊分は相拒隊中百人中、谷山口南春遊籠り前

主源も口取何方より進去今山分山分知事山分山分

下の園浦町、住居海、塔中山事

一 右力士隊隊中、二百五十人山分山分山分山分山分

一 今山分山分山分山分山分山分山分山分山分

一 四月九日、山分戦争、山分山分山分山分山分山分

山分山分山分山分山分山分山分山分山分山分

一 日二月、山分山分山分山分山分山分山分山分

元來對する者之然、山分山分山分山分山分山分

内通... 戦... 隊... 士... 二階...
 一 右... 隊... 捕... 入...
 一 二月中... 山... 用... 長... 報... 和... 重... 重...
 一 途... 中... 月... 初... 敷... の... 中... 何... 者... 夫... 知... 祭... 施... 神... 祀...
 一 想... 入... 分... 隊... 所... 醫... 治... 戸... 向... 案... 胸... 板... と... 以... 手... 接... 即... 死... 念... 何... 集...

不業... 事... 知... 以... 〇

一 同... 二... 月... 中... 旬... 長... 門... 内... 後... 軍... 情... を... 差... 殿... 出... 登... 右... 山... 麓... 中... 軍...
 一 相... 公... 山... 実... 母... 元... 乾... 公... 之... 集... 山... 本... 帳... 中... 以... 婦... 子... 出... 産... 事...
 一 有... 山... 帳... 舟... 中... 人... 一... 後... 昨... 年... 亦... 有... 之... 其... 月... 代...
 一 同... 育... 之... 名... 富... 集... 神... 官... 先... 元... 和... 泉... 何... 集... 第... 三... 條... 郡... 役... 宰... 府... 上... 紙... 居... 以... 用... 亦... 中... 國... 外... 渡... 所...

- 一 高島隊中半隊隊所築設村上宅馬場上築宿
- 一 廣島三ノ花園波出陣し
- 一 長府將隊系田監督清水若波前之武士隊長を執
以事
- 一 長府隊海邊別前を隊長と爲し其陣を事
- 一 長府隊は秋戦争に東城中軍帳山中勝山に於
新設陣所を造作當今勝山に移陣あり廣中城中
の勢多勝山に勅仕し事
- 一 馬場南地稲原山新地河原泥方あり園門長府之士

- 三四十人、至夜詰居り
- 一 長府往山清水木出口入口あり園門を建て國方を控
急往來他人一切通断せしめ
- 一 山口小郡宿日本園門を築設大元城郭に矢
外堀中二十間程あり其後高人士を以て守り並に野
戰砲並小銃數多備へり取敷い殿舎を再建内堀を
築令堀居老若男女入交候に事あり其意を教
色以新に城を高城に内密に山に移候に事あり
大勇立也

一 尚令當家隊の内、女子を人見たり、年齢幸宮
 へ尚米出せし由、橋おきく、と考へ、継つり、刻期
 織長船指等、去秋檀浦の戦争、自負の士、皮
 女借し、
 一 色山、女子隊出、
 一 家、隊、中、何、系、控、札、徳、和、歌、
 一 花の他、英佛の、
 一 長府の士、部、百、宇、石、所、村、勢、前、事、文、武、の、群、衆、の、老、
 然、久、以、秋、江、戸、毒、切、り、の、事、紀、也、之、為、其、言、九、月

一 十八日、中津、廣、徳、林、
 一 夜、分、押、集、是、上、新、
 一 改、名、只、今、報、玉、出、隊、出、勅、尚、二、月、下、旬、長、府、廣、
 一 備、家、情、察、家、事、編、
 一 有、人、既、五、三、百、人、奈、子、園、
 一 若、年、若、斗、
 一 月、上、旬、
 一 報、玉、隊、結、隊、
 一 分、報、玉、隊、結、隊、

- 一 既抄中 以存中 國新地 切分て 當りて 切敷伊多 國
 順者 土部 以前 是 出方 粘領 國の 町 是 八十 令 隊長
- 一 是 抄 御 座 事
- 一 當 地 本 屬 少 人 隊 主 博 彦 卿 之 嫡 子 彦 理 前 之 是 三
 男 之 七 八 九 之 少 年 隊 之
- 一 是 今 小 碓 小 洲 川 吉 田 西 市 明 本 中 國 門 各 七 八 各
 在 其 抄 移 居 事
- 一 是 是 隊 軍 目 付 抄 之 段 相 承 在 馬 傷 中 之 事
- 一 例 年 之 月 在 下 國 安 德 天皇 以 神 事 以 國 乱 之 存

當年 以 爲 事

- 一 本 屬 十 城 隊 備 集 集 人 以 下 之 國 出 張 是 本 屬 之 也
- 一 大 所 之 隊 之 子 在 以 上 之 者 多 有 之 事
- 一 當 此 月 中 夜 出 府 屬 目 付 段 立 以 佐 佐 木 林 武 彥 方 武
 士 四 人 入 込 口 之 切 敷 事
- 一 當 此 月 中 伊 豆 周 田 下 軍 艦 宗 光 月 之 子 國 在 出
 帆 英 佛 高 島 内 密 之 渡 海 今 船 海 府 有 之 事
- 一 當 此 月 八 日 是 是 隊 士 吾 宗 人 吉 田 河 出 張 何 事 之 事
 在 其 抄 事

一 南分馬園南約町東外夷船接取
村田船六下設武田要津御
と海軍に砲撃未済なり

一 四月八日上船し皇夷軍艦
入港多刻 幕府に軍艦を
以て迎撃の帆あり

一 今日長府城下船千丈ヶ系
一里山切あり 船玉隊士戦
闘し個体あり 左系長及
長今より日し如き事あり

一 白海首領に割取成紅し
瑞馬引揚し 漢言三百余人
浪に破れ 大砲号令あり
系系所多し 立是又同勢多
と亦本陣竹刀し 闘戦の乱
右村より三根刀潰り 武吉
事方より始し 事毎夜あり
四月九日本属軍艦座田丸
長防あり 南分日雇人

一 各段の加り主師大小並に成念之支事...
 一 下ノ園南近町同座仲修之...
 一 尚志山系並列米石又...
 一 尚今檀浦前田之外...
 一 檀の浦...
 一 子残阿弥陀寺...
 一 中ノ園...
 一 地入...
 一 長府...
 一 西ノ...

一 檀の浦...
 一 子残阿弥陀寺...
 一 中ノ園...
 一 地入...
 一 長府...
 一 西ノ...

領知之事

- 一 防別大務那社務、部後一付之者方在地方之在社務に
- 一 寄立隊より官場二ヶ所を建右隊士が是准、在社務に
- 一 寄立隊二ヶ所、友協右隊士集會場不之、部軍儀
- 一 其他五人北不之、及北隊に
- 一 防別上之園寄立隊七百人、寄立隊二百人、寄立隊後居出奉
- 一 長列士、尚時、其等者、多分、見、更、中、に
- 一 去、寄、立、隊、と、他、五、人、上、園、清、田、一、日、限、り、有、り、其、等
- 一 寄、立、隊、少、し、後、其、等、者、有、り、し、り

- 一 防別大務那、表、高、二、百、石、地、以、其、内、寄、立、十八、名、寄、立、者、に
- 一 是、准、し、寄、立、隊、の、後、其、等、者、有、り、し、り
- 一 尚、今、長、防、南、島、社、務、に、通、り、寄、立、隊、と、上、之、園、に、同
- 一 應、外、不、之、港、と、一、切、刀、港、上、港、少、寄、立、十、一、園、一、寄、立、者
- 一 如、通、り、以、其、上、寄、立、隊、に、奉
- 一 一、昨、年、に、身、寄、立、隊、大、出、金、奉、一、切、寄、立、隊、寄、立、隊、奉、奉、し、り
- 一 定、言、雖、然、も、一、寄、立、隊、通、り、寄、立、隊、或、寄、立、隊、之、文、字、に、凡、七
- 一 大、友、長、列、士、寄、立、隊、海、岸、に、残、り、寄、立、隊、一、統、雖、有
- 一 切、り、心、寄、立、隊、に、感、謝、の、事、に、一、切、寄、立、隊、に、寄、立、隊、奉

- 一 尚正月廿七日附英國軍艦一艘入港
- 一 上港亦見炮台
- 一 至園崗村家之隊竟荒隊士報云隊士古之市中町
- 一 宿夜一居往來悉之軍裝米物中家之隊士始見
- 一 子成如是町之軍機又港隊士之隊各標以租
- 一 果地之右在之海之絕之山事
- 一 尚今正月廿七日附依波之藏園山二之園山又之建
- 一 大炮二十挺之砲之備之中之何之自之山之山
- 一 下園山之極地村之以以陳營之建以府尚月廿日地突

始之是之隊之屯集所之山事

- 一 今殺佛蘭西人等組未大炮二十二挺之軍艦也
- 一 此實上之一年破曉之山事也
- 一 亦方有之山事

- 一 益而福系國目以下時之別股之在之自之相遠
- 一 將之山之山事
- 一 日急及之山事
- 一 總官事務又之山事
- 一 他山之山事

事の中居の事
一 倉一平右近守前年一町觸差出有之

一 小倉と平年追増長地未為一書事出未以美羅斗
轉中寄各隊士憤激下方町を農を引一統憤發
しを一居の事

一 諸隊中義勇追了憤發下方形勢劣如一書事
出未以美羅斗

一 唯子四月十下馬園竹傷一本陣白石正三前方出血
心卒去有之山海山落右馬路惣徳軒長を討し祥世

君は為持まき一才のあら起あく露の清り^かを^おり

まろけくも子孫のまはるるも事同のまのまのま

右の岩山甲山前神尾華宗一統を結成し居有之
港川楠と云社より立派有之

一 防列を市の川を以て流す前

けまのふらぬれに伝書を抄し三番之書ありき

二条西平知源有付の山

このふのまらつまら由れ為外をひらぬらるる

まら風流を引替へ今まらまら

以外編數多并今省略

一 昨夏平野戦争之節、高木辰廣系陸奥前左之軍を
逐絶し、其後、曾日、殿、云、園、切、り、自、腹、其、時、穉、世
上、地、廣、清、水、源、高、本名、女、信、と、頼、高、の、割、腹、也

河、上、高、之、次、也、つ、令、懐、也、何、れ、心、掛、り、古、瀬、の、下、

一 清、山、辰、廣、安、友、誠、帥、也、日、本、門、外、に、戦、死、那、次、志、平、と、云
穉、世、の、時、と、却、り、是、又、云、園、之、自、腹、清、水、源、高、之、孫、也、

引、取、當、分、等、之、隊、中、に、在、り、也、

一 恰、也、と、云、り、淺、瀬、者、平、田、國、彦、戦、死、

右、口、前、山、端、切、り、り、自、殺、有、り、と、云、り、志、平、和、繁、寺、池、原、辰、廣、也、前、千、代
當、前、中、系、用、の、由、甚、友、新、と、云、り、加、友、若、苦、心、下、八、令、と、也、

一 和、泉、才、志、系、外、記、事、當、附、加、火、之、前、と、改、名、之、條、也、淺、原、筆

府、に、在、り、は、余、也、卿、方、淺、原、當、附、と、云、本、名、丹、後、水、原、左、衛、門、

谷、進、村、并、進、子、是、利、内、就、持、居、殘、在、り、也、

一 此、八、月、外、表、り、戦、争、に、初、末、之、隊、福、田、由、吉、也、本、田、村

一 聲、揚、り、多、く、大、炮、一、丸、胸、腹、を、打、抜、二、所、余、後、有、り、陣

一 原、内、に、既、の、槍、を、腰、懸、と、打、當、り、身、を、腰、懸、四、方、に、死、散

一 其、中、に、死、を、了、隊、士、に、而、り、又、一、血、回、傳、傳、り、其、血、分、を、破

誠人系者其見山由上...

一 燕京軍艦武殿高淳心定方新觀古仕立山由...

中山侍從浪人家名隊之士為品山毛利清之節...

合戦之節彼船打回...

一 新城中修寺山監長寺寺里斗檣中四丁海切板小

國分中入船通和軍艦心通以...

新觀之事...

一 城中修寺兼江濱方長計里...

立寺上大角十六...

一 城山之寺寺方後祖城...

新觀之寺外之方在海...

一 城內寺真 兼殿原山新觀...

寺寺妙珠寺修海宗城外...

提不寺大寺...

一 城中城下極井門...

牌佛具...

...

一 洞春院天探院在...

...

欲報君恩業未央

堪慨四十五年枉

從來成佛非我意

欲作天魔捕玉光

右持赤短冊書換使（單）切腹後（山）風安也雅樂十

日斗三和常業寺住持昭陽西堂（云）戒法名也按（居）

也切腹後常業寺（絶）威鬼也輕（山）

一 石列海辺跡（非）雅也（教）交意有（山）

一 益田澤也（不）風安也（多）風俗也（變）依也（高）人

一 百連家河山交途中（曾）七人（同）人切腹而追（上）山

一 山口大神宮祿祿友大（可）有（以）家若祿祿（祿）敏也

迹込流若祿祿若箇是七人若澤也（教）後也（高）

以（以）所（七）人切腹跡（以）也（中）是（山）宮箇也（多）風俗也（變）

彼七人之海（中）或有人斗（之）集（法）法施施（祿）也（切）

喝（合）島（澤）也（法）或澤也（討）而（所）也（城）下（澤）也（以）舟

又（若）祿祿（以）箇（大）之（可）也（有）也（切）也（城）下（也）也（山）也（切）也（舟）

彼（澤）也（法）也（七）人（角）也（寺）也（山）若（祿）也（祿）也（中）也（利）

秀（元）也（殉）也（死）也（有）也（云）

一 藉（城）也（書）也（山）也（利）也（祿）也（祿）也（寺）也（方）也（七）也（名）也（有）也（舟）

一 常業寺住持昭陽西堂切腹（前）也（祿）也（祿）也（三）也（日）也（舟）也（絶）也（意）

一 山形縣 日林山土光院之寺是、東照三大権現御牌
 也、建永寺之殊、外大寺也、神依候、寺名有、今般信
 勅使正親所大納言、保山、御寺、山、縣、未、歟、也、
 一 防別小瀬川、防別場、海原、寺、外、下、南、西、下、関
 上、山、場、築、三、支、國、之、凡、十、不、有、山、地、風、吹、
 一 防別、岩、山、吉、川、徳、山、毛利、法、隆、寺、中、毛利、甲、斐、法、系
 毛利、僧、破、何、事、山、別、家、有、最、と、始、寺、外、石、石、之、形、
 一 家、一、門、完、戸、家、分、在、最、家、合、烟、練、寺、之、寺、下、邊、
 百、邊、寺、續、町、中、と、通、行、南、側、之、堂、院、を、廊、一、寺、火、焚、

町中、寺、火、焚、之、上、彼、子、切、け、有、人、事、烟、練、平、日
 葉、を、烟、也、主、前、七、飯、味、滑、汁、を、了、し、烟、也、
 一 家中、之、如、女、之、隊、と、号、し、想、大、乃、若、殿、梅、之、女、也、
 一 了、淋、隊、梅、淋、隊、湯、之、隊、先、洋、隊、陣、之、ヤ、ウ、湯、方、也、
 一 農民、勇、阿、若、八、是、一、加、也、風、吹、
 一 百姓、町、人、を、農、之、隊、穢、多、非、人、を、表、臨、と、号、
 一 法、正、の、教、多、入、込、山、浪、流、流、を、奇、之、隊、と、号、
 一 穢、多、非、人、之、徒、と、号、年、々、石、信、石、一、月、金、或、者、小、寺、を、
 若、殿、梅、之、寺、下、也、

大昔下と構大角木据並大勢未備又東洋と中亦も在
 城を構大河の傍禪蘭妙塔を付す言ふ名見玉
 之師善法住居又向一向宗志光寺と中寺言八子角
 及外記構居付是く寺と想福系我後掛能系福
 園建田若船極通河と所何中と語は伏言寺方又
 之寺人言並山由山道水郡と文帝と平地と一
 右側と山を渡祖と場付有陶尾港と城は河と陶
 校と中亦有け所増田深き傍正護寺陳屋波の
 陶と山口と方道有と澄谷と三八分小東山中と山口

一 寺と石造新規未構之ハ禁一瓦寺と中寺何と並
 一 何系大角と在東ノ東南と尚り是村郡古院と高須
 一 何系大角と在東ノ付是ハ海岸と迫場亦と叢重
 一 未構一由ハ是村がハ八町斗り陽橋上と松成り中
 一 金剛山岩屋寺と中觀音靈場河と北山頂ハ九列辺
 一 相入波と諸役人未住居付向中未構と續之
 一 寺中不と在男子子供未足と心と寺少所建並山由
 一 百姓耕と中寺も眼房を寺一武藏と心入山由
 一 何方後若侍下と園と名船亦寺屋と方一山由

- 一 徳方は集りて多量隊風あり又々暗夜に前大筒煙をた
- し軍儀し移古しし一奥肉を食し一五山野出糶
- 席多類を法炮を物ししをしし山
- 古社に古教を丸上皮具是仕之炮火を遮りし
- 物しし登場ししを垣自中炮火を遮りし
- 一 大砲小砲数多撥珠玉或は石玉
- 一作をたしき波を志免し松明梅りし
- 一 干莫又々鏝前未鞆を固し
- 一 出家去天下し掩民し一守中農民と常し

- 一 一しめ多しを逆電球し中活系未成者あり
- 一 一五中何考かきし以功考者軍法奇功唱し
- 一 一山考ありし
- 一 一燈仕考し俄中粘を移り四年二月古用中よき
- 一 一紙と法重子考ありし
- 一 一立家中子供と中具是器し仕之山
- 一 一寺し之鏡沖を丸上能清し
- 一 一甚防熱軍師國司信濃若智者
- 一 一執後仁考し益田渾西大念し

智仁勇之三士と申道徳を家一士教多ありし
 一 長防家中知事不二千石や中地方に知事と立事あり
 一 住居海軍といふ城下に居て清く修め長防ありし
 一 家守の座あり又知事といふ元末急に百姓を
 一 苛力の故に曾之男去地以て家守に立武名知事
 一 國中男共勇ま成り
 一 新橋下松海居長城築之末成り前々玉中万石
 一 少り其方中古に残るこを擔ひ農民老若男共
 一 之夜休を多く働き若殿極善清事ありしを

之を洗拭せしむる事ありぬ
 之を洗拭せしむる事ありぬ
 之を洗拭せしむる事ありぬ

甲列巨摩郡
 百中彩田
 金原寺
 仁威 玉城

慶應元元年二月

右甲府勸業士紀小田切也事ありし
 御免を以て清拭中へ通し以用あり進達ありし
 痛罵



Faint vertical text in seal script, likely bleed-through from the reverse side of the page.

紙數拾七枚



紙數參拾七枚

